

学校法人城西大学 中欧研究所 Josai Institute for Central European Studies

学校法人城西大学 中欧研究所

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26

Josai Institute for Central European Studies

3-26 Kioicho, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0094, Japan

http://www.josai.jp/jicpas/jices/index.html

e-mail: jices@jiu.ac.jp

Newsletter

設立記念創刊号

(2014.2.1 発行)

学校法人城西大学中欧研究所の設立にあたって

学校法人城西大学は、法人内の学術センターとして新たに中欧研究所(Josai Institute for Central European Studies)を東京紀尾井町キャンパスに設置し、高等教育・研究機関として中欧研究の奨励、中欧地域と日本における学術交流・共同研究を推進するとともに、広く国際関係を支える人材の育成に努めていきます。

所長あいさつ



水田 宗子

(学校法人城西大学理事長・中欧研究所長)

学校法人城西大学は、グローバル人材の育成に向けた国際交流活動強化を掲げて世界のさまざまな大学と国際交流を深めるなか、特に中欧諸国の大学に関して、学生交流および人材育成に積極的に取り組み、中欧地域での教育交流および文化交流の実績を積み上げてまいりました。

そして、同地域とのさらなる学術交流の推進、国際性・専門性を備えたグローバル人材の育成をめざし、新たな手段を模索してまいりましたが、2013年11月21日にハンガリー首相、ヴィクトル・オルバン閣下がご来学されたことを記念し、このたび中欧研究所を設立することといたしました。ご来学時にヴィクトル・オルバン閣下はハンガリーから本研究所に2名の研究者が派遣されることを決定・宣言され、ハンガリーの文化等に

関する学術書を多数寄贈してくださいました。設立にあたり、ヴィシエグラード4か国の

各国駐日大使館よりご賛同を頂戴し、各国駐日大使閣下には、研究所名誉所長にご就任いただくことになりました。中欧の各国大使・提携校や提携機関、外務省等のご支援をいただきながら活発な活動を展開してまいります。

中欧研究所は2014年2月4日に本学東京紀尾井町キャンパス1号棟にて開催されるVisegrad plus Japan Security Seminarと、翌2月5日に東京紀尾井町キャンパス3号棟にて開催されるV4+Japan Student Conferenceを活動の第一歩として踏み出し、積極的に活動を行います。つきましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

名誉所長あいさつ



イシュトヴァーン・セルダハイ閣下

(駐日ハンガリー大使・中欧研究所名誉所長)

このたび、学校法人城西大学内に中欧研究所が設置されますことはまことに意義深く、

心よりお喜び申し上げます。それはとりもなおさず貴大学が以前より中欧諸国との学生交流、文化交流、学術交流等を継続されてきたこと、加えて現在に至るまで日本国内には中欧の専門研究機関が存在しなかったため、ことさら重要なことと考えております。

1990年以降、日本とヴィシエグラード4か国(ポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリー)を含む中欧各国とのつながりは、政治、経済、文化等の各分野においてしっかりと根を下ろし、既に熟した関係にまで発展してきています。昨年のハンガリー首相訪日に際し発表された中欧研究所設立ですが、特に本年が『V4+日本交流年』という記念すべき年にあたることもあり、2014年に東京で開所されることは時代に即しているだけでなくタイムリーなことでもあります。

初代名誉所長として就任させていただくに際し、私はこの中欧研究所が東京から発信する将来的には日本とヨーロッパの交流センター、日本のみならず国際的にも学術的に高水準の中味を伴った知名度ある機関に成長することを願い、その達成に向けて全力を尽くしてゆく所存です。

中欧研究所について

〈中欧研究所の目的〉

本研究所は、本学法人内の学術センターとして東京紀尾井町キャンパスに設置し、城西大学・城西国際大学の両大学を含む本学グループ全体で、2007年に本学が本格交流を開始したハンガリーをはじめ、チェコ、ポーランド、スロヴァキアを加えたいわゆるヴィシエグラード4か国(V4)を中心とする地域を第一義に、その周辺国を加えた中欧における国際教育・連携の推進機能を担います。そこで、高等教育・研究機関として中欧研究の奨励、中欧地域と日本における学術交

●メンバー一覽

所長	水田 宗子 (学校法人城西大学理事長)
名誉所長	H.E. Ms. Kateřina Fialková (駐日チェコ大使)
	H.E. Mr. István Szerdahelyi (駐日ハンガリー大使)
	H.E. Mr. Cyryl Kozaczewski (駐日ポーランド大使)
	H.E. Mr. Michal Kottman (駐日スロヴァキア大使)
副所長	柴 宜弘 (城西国際大学客員教授)
名誉フェロー	Mr. Zoltán Südy (元駐日ハンガリー大使)
	Ms. Jadwiga Rodowicz-Czechowska (前駐日ポーランド大使)
フェロー	井上 明久 (城西国際大学招聘教授)
	大島 利雄 (城西大学教授)
	七井 誠一郎 (城西国際大学教授)
	関 俊暢 (城西大学教授)
	飯尾 唯紀 (城西大学准教授)
	Andrew Horvat (城西国際大学招聘教授)
	Attila Kiraly (城西国際大学助教)

- 流・共同研究を推進するとともに、広く国際関係を支える人材の育成に努めてまいります。
- 〈具体的な活動内容〉
- ①上記目的に沿った施策の立案と実施
 - ②同地域の提携大学との交流活動・共同研究の具体的推進
 - ③各国関係諸機関・大使館等との連携
 - ④同地域に関心のある諸団体・企業との連携、研究資金等の獲得
 - ⑤セミナー、シンポジウム、講演会等の開催
 - ⑥ニュースレターの発行
 - ⑦学術誌の発行

語、チェコ語、ポーランド語を学んでいます。また、2009年12月にハンガリー共和国の大統領シヨロム・ラースロー閣下の来学を記念して水田宗子奨学金を設立し、両国の人材育成に寄与しています。

そして、これまでのハンガリーと日本両国間における教育・研究、人材育成への大きな貢献が認められ、水田理事長が2011年5月にハンガリー共和国より文化勲章を受章、2013年11月にヴィクトル・オルバーン閣下よりハンガリー中十字勲章が授与されました。

また、中欧に関するセミナーやシンポジウム、講演会なども積極的に開催し、2012年4月にポーランド大統領夫人、2012年10月にヴラジミール・トムシクチェコ国立銀行副総裁が本学において講演されました。さらに2013年2月には「V4+日本 東方パートナーシップ・セミナー」を外務省との共催により本学東京紀尾井町キャンパスで開催し、2013年6月のV4各国の首脳公式会談後の共同声明においてその実績等が評価されました。そして、2013年11月にハンガリーの首相ヴィクトル・オルバーン閣下が来学され、本学からの名誉博士記授与および特別講演会が行われるとともに中欧研究所の設立が発表されました。

ハンガリーのオルバーン首相が来学

日時…2013年11月21日
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



2013年11月21日、ハンガリーのオルバーン・ヴィクトル (Orban, Viktor) 首相が本学東京紀尾井町キャンパスに来学されるとともに、本学からの名誉博士記授与および特別講演会が行われました。

本学は、中期目標でグローバル人材の育成に向けた国際交流活動強化を掲げて世界さまざまな大学と積極的に国際交流を深めるなか、特に中欧のハンガリーに関しては、2007年のブダペスト商科大学 (Budapest Business School) との学術交流協定を皮切りに、現在、エトヴェシュ・ローランド大学 (Eötvös Loránd University) をはじめ、同国を代表する九つの大学と協定を結んでいます。そして、2013年までに城西大学・城西国際大学両学より150名以上の学生がそれらの大学へ留学するとともに、ハンガリーからも100名近くの学生を受け入れていました。また、両学では2008年以降、のべ3千名を超える学生がハンガリー語を学んできました。

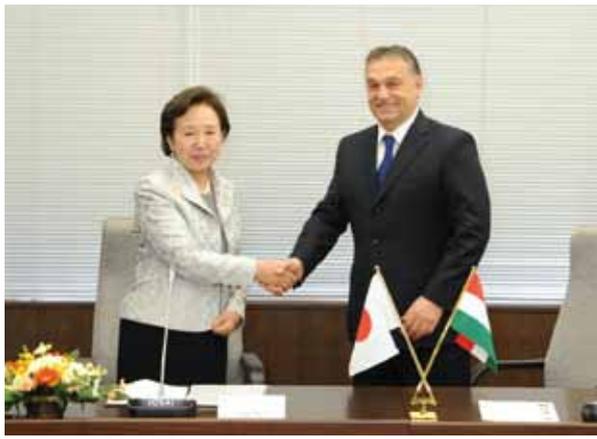
年12月のシヨロム・ラースロー (Solym, László) 大統領 (当時) に続くものです。

水田宗子理事長や城西大学森本雅憲学長、城西国際大学柳澤伯夫学長が迎え、オルバーン首相以下、バログ・ゾルターン (Balog, Zoltan)、教育大臣、ヴァルガ・ミハイ (Varga, Mihaly)、経済大臣、シールト・ペーテル (Szigjártó, Peter) 首相府対外外交経済政務次官らに加え、セルダハイ・イシュトバーン (Szerdahelyi, Istvan) 駐日ハンガリー大使および山本忠通駐ハンガリー大使ら計37名の訪問団が来学し、会見を行いました。

会見では、水田理事長が「首相に本学にお越しいただき、大変光栄です。今後もハンガリーの大学との交流を深め、日本とハンガリーの懸け橋となる人材の育成に一層つとめてまいります」と挨拶し、オルバーン首相も「急速に変化する世界の中で、ハンガリーのさらなる発展のためには若い世代の育成が重要です。城西大学との学術交流を通じて、二国間の絆がさらに強まることを願っています」とお話しされました。

このたびの来学は、これら本学とハンガリーおよびハンガリーの大学との深い学術交流がハンガリーで高く評価され、オルバーン首相の公式訪問となつて実現したものです。公式実務訪問賓客としての今回の来日では、天皇皇后両陛下との御引見や安倍晋三内閣総理大臣との会談など多忙な行事が予定される中、高等教育機関としては唯一本学にお越しいただきました。また、ハンガリーの政府要人の本学へのご来学としては、2009

会見に続き、地下ホールにて、オルバーン首相への城西大学名誉博士記授与式が行われました。今回の授与は、ハンガリーを今日の繁栄に導いてこられたオルバーン首相の長年にわたる活動と功績をたたえて授与を決定したものです。オルバーン首相は、1963年生まれ、本学と学術交流協定を締結しているエトヴェシュ・ローランド大学を1987年



握手するオルバーン首相（右）と水田理事長

にご卒業されました。ハンガリーの青年民主同盟の結成以来のメンバーで、常に自由と民主主義のために活動を続けてこられました。そして、1990年の社会主義体制終焉後初の選挙以来、常に国会に議席を保持され、ハンガリー市民同盟の党首として、あるいは首相として常に主導的な役割を担ってこられました。

その後、ご来学を記念して、オルバーン首相に「変化する世界の中のハンガリーとヨーロッパ (Hungary and Europe in a Changing World)」というタイトルで特別講演を行っていただきました。ご講演では、近代におけるハンガリーの体制、経済の変遷と、それに影響を与えたヨーロッパ全体の歴史とこれからの展望への考察、そして、これからの世代を担う若者たちへのメッセージなど、四半世紀にわたり、政治の第一線にてハンガリーの変革を指導してこられた実体験に基づいたお話を頂戴しました。会場の地下



オルバーン首相への名誉博士記授与

ホールでは、ポーランドのツイリル・コザチエフスキ (Czyli Kozaczewski) 大使、スロヴァキアのミハル・コットマン (Michal Kottman) 大使、チェコのヤン・ユヘルカ (Jan Juchelka) 副大使、EU代表部のメイヴ・コリンズ (Maeve Collins) 次席ら、「ヴィシエグラード4か国 (V4)」の代表をはじめ、日本学術振興会の渡邊淳平理事、独立行政法人国際協力機構、独立行政法人科学技術振興機構などから、ハンガリーおよび本学に縁の深い招待客の方々や、本学の教員、学生やチェコ・ハンガリー・ポーランド・カナダなどからの留学生ら約150名が熱心に参加しました。また、会場に入りきれない本学の学生たちが同時中継により別教室で講演を聞いたほか、城西大学・城西国際大学のキャンパスにも中継されました。

特別講演終了後、首相は、地下ホワイエにてホールに入りきれなかった本学の大勢の学



学生たちとの交流

生やハンガリーからの留学生らに囲まれて、しばし交流の時間を持ちました。交流の場では、ハンガリー語を学ぶ本学の学生が流暢なハンガリー語で首相に挨拶して来学の御礼を申し上げるとともに、ハンガリーからの留学生も日本での充実した留学生活の報告などをしました。

今回のオルバーン首相の来学により、今後の本学とハンガリーとの親善およびハンガリーの大学との交流がますます深まることが大いに期待されます。

なお今回は、ハンガリーをはじめとするこれまでの中欧地域での本学の教育実績を踏まえ、同地域とのさらなる共同研究・学術交流・人材育成の推進、学部・大学院教育支援のために、「中欧研究所 (Osai Institute for Central European Studies)」を東京紀尾井町キャンパスに設置する旨の発表もあわせて行いました。



本学とハンガリーの交流展の一角

今 回の首相のご来学に合わせて、東京紀尾井町キャンパス3号棟水田アートギャラリーにおいて「本学とハンガリーの交流」と題した写真展が開催されました。ギャラリーでは、ハンガリーの美しい街並みを紹介するとともに、本学からのハンガリーの大学訪問の様子や学生らによる国際交流の歴史、これまで本学にて行われたハンガリー関連の各種シンポジウム・イベント等を紹介しました。あわせて、ハンガリーの音楽、楽器、映像、文学などの独特の文化も紹介しました。

安倍総理夫妻主催の「ポーランド・アイルランドの夕べ」

において、本学に留学中のポーランドの学生が

プレゼンテーションを実施



日時…2013年10月25日
場所…総理大臣公邸



安倍首相を囲んで

2013年10月25日、総理大臣公邸で開催された安倍晋三内閣総理大臣夫妻の主催による「ポーランド・アイルランドの夕べ」に、本学に留学中のワルシャワ大学 (University of Warsaw)、ポーランド日本情報工科大学 (Polish-Japanese Institute of Information Technology) の学生が招かれ、今後の両国の交流進展に向けたプレゼンテーションを行いました。

2013年6月の安倍総理のワルシャワ訪問に同行された総理夫人が、ワルシャワ大学とポーランド日本情報工科大学を往訪されたことがきっかけとなり、本学に在学する両大学の学生たちに「10月の『ポーランド・アイルランドの夕べ』で、ポーランドの魅力について紹介するとともに、日本とポーランドがどうすればさらに密接な関係になれるのか、留学生の視点から提言・提案をしてほしい」という依頼をいただいたものです。

当日は、安倍総理夫妻をはじめ、来日中のヤヌシユ・ピエホチンスキ (Janusz Piechociński) ポーランド副首相兼経済相、ポーランド、アイルランド両国の駐日大使夫妻、日本・ポーランド友好議員連盟および日本・アイルランド友好議員連盟のおよび両国関係者の前で、本学のポーランド留学生8名が今後の交流の一層の進展に向けたプレゼンテーションを行いました。プレゼンテーションでは、留学生それぞれが日本への興味を持ったきっかけの説明や、バスを使った「移動文化センター」による相互交流推進の提言などを行い、両国関係者から大きな拍手をいただきました。

今回の招待は、2013年6月の安倍総理のワルシャワ訪問に同行された総理夫人が、ワルシャワ大学とポーランド日本情報工科大学を往訪されたことがきっかけとなり、本学に在学する両大学の学生たちに「10月の『ポーランド・アイルランドの夕べ』で、ポーランドの魅力について紹介するとともに、日本とポーランドがどうすればさらに密接な関係になれるのか、留学生の視点から提言・提案をしてほしい」という依頼をいただいたものです。

ハンガリー共和国大統領が本学にて特別講演

日時…2009年12月3日
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



ショーヨム大統領をお迎えして

2009年12月3日、ハンガリー共和国のショーヨム・ラースロー (Solyom László) 大統領が本学東京紀尾井町キャンパスをご訪問され、特別講演および学生たちとの交流が行われました。

午後3時にご到着された大統領は最初に水田宗子理事長や本学理事・諸先生方と懇談されました。観光学部が初めてなしのお茶をハンガリー語とともに出すと、笑顔で応じられました。

水田理事長からは、大統領の来学を歓迎し、本学とハンガリーとの交流のこれまでの

紹介や、ハンガリーの元大使お二人が本学客員教授を務めておられ、ハンガリーの歴史や文化も教育していること、大統領来学を記念しての奨学金の創設の発表、そして、本日のたぐいご講演が新しい時代を構築しつつある日本にとって非常に示唆深いものとなり、楽しみにしていますと挨拶がありました。

大統領は、「大学は私の本来いるべき場所という気がして大変うれいす。日本・ハンガリー友好140周年記念という節目の年にいただいた奨学金は忘れられないものとなりました。城西大学には、これからの両国交



ハンガリー奨学金贈呈

流のモデルロールとなつてほしいですし、また個人としても今後、城西大学とハンガリーとの交流促進をサポートしていきたい」とお話しになりました。

◆セント・イシュトヴァーン大学との 学術交流協定調印式

ハンガリーのセント・イシュトヴァーン大学 (Szent Istvan University) との学術交流協定調印式が行われ、大統領のご臨席のもとシオルテイ (Solti I. Jászai) 学長と水田理事長による協定書の交換が行われました。セント・イシュトヴァーン大学は同国の農業教育、観光教育を牽引し、また社会科学分野でも知られた同国を代表する総合国立大学です。

◆水田ハンガリー奨学金の発表

水田ハンガリー奨学金の発表および水田理事長からボハール (Bogar. Erno) 駐日大使への目録贈呈が行われました。この奨学金は大統領来学を記念し、経営、観光、環境、国際文化、ITなどの分野でハンガリーから本学へ留学する学生に対し、学費、渡航費、滞



講演する大統領

在費等の支援を行うもので、この奨学金を利用してより多くのハンガリー人留学生が本学で学ぶことを願ひ、設立いたしました。

◆大統領の特別講演

大統領の特別講演は「法による革命・ハンガリーの民主化から20年」と題し、民主主義体制への移行時に法学者として市民運動に積極的に関与し、憲法裁判所の設立および初代長官として活躍されたご自身の経歴談を基に、大変興味深い講演が行われました。講演後は、城西大学、城西国際大学の両大学の学生から活発な質問があり、大統領は、その一つひとつに丁寧に答えられました。

◆学生との懇談

講演後は場所をカフェに移し、本学学生との交流会にご参加された大統領は、この交流会を大変楽しみにしておられたとお聞きしました。交流会にはハンガリー語履修学生、ハンガリーへの短期研修参加学生、ハンガリーへの日本語インターンシップ参加学生、ハンガリー人留学生など20数名が参加し、ハンガリーに関する質問をはじめさまざまな質問がなされ、和やかな雰囲気ですべての時間を超えて歓談が行われました。最後に大統領からハンガリー語教材の贈呈を受け、本学学生からも記念品が大統領に渡されました。学生がお願いし、本学図書館に寄贈された大統領のご著書にサインもいただく場面もありました。

本学では、ブダペストへの短期研修派遣、遠隔中継による学生同士の交流、ハンガリー作家の講演会などハンガリーとの活発な交流を実施しており、ハンガリー語履修生は230名を超えています。大統領のご訪問を契機として、さらに交流の活発化を進めていき、日本とハンガリーの懸け橋となる人材を育成していくよう力を尽くします。



交流会の様子



著書にサインをする大統領

本学にて「V4+日本

東方パートナーシップ・セミナー」を開催

日時：2013年2月5日
場所：学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



2013年2月5日、本学東京紀尾井町キャンパス地下ホールにおいて「V4 (ヴィシエグラード4か国) + 日本 東方パートナーシップ・セミナー (Visegrad Group and Japan, together for Eastern Partnership)」が、外務省、V4諸国、本学の共催により開催されました。

中欧のチェコ、ハンガリー、ポーランド、スロヴァキアの4か国は、各国間の友好と協

力を進めることを目的とした協力の枠組みとして「ヴィシエグラード・グループ」を形成しており、グループの総称として「ヴィシエグラード4か国 (V4)」とも呼ばれています。日本でも「V4+日本」として、V4との対話・協力を推進しており、外務省が経済、環境、開発協力・エネルギー効率等のトピックスに関する各種セミナーを行ってきました。

また、本学は、中期目標でグローバル人材の育成に向けた国際交流活動強化を掲げて世界のさまざまな大学と積極的に国際交流を深めるなか、特に中欧地域との教育交流を強化しています。

ポーランドがV4議長国を務める今回、V4諸国の関心も高い「東方パートナーシップ」(Eastern Partnership・・EUが欧州近接国施策として東方6か国(ゲルジア、ウクライナ、アゼルバイジャン、モルドバ、アルメニア、ベラルーシ)に対する地域的協力関係を強化する枠組み)をテーマとして、さらに幅広い層への日本におけるパートナーシップ対象地域の認知・理解促進を目的に、中欧地域の大学と交流関係の深い本学キャンパスにおいて開催することとなったものです。

セミナーには、日本政府をはじめ、V4および東方パートナーシップ対象国の大使や22か国の大使館の外交団、本学関係者、学生、有識者、本学のグローバル教育を支援していただいている企業の方々ら約150名が参加しました。

セミナーのオープニングスピーチとして、水田宗子理事長は「今回の東方パートナーシップ・セミナーを本学で開くことができ、誠に光栄です。本学はグローバルに活躍できる人材育成を目指しており、次世代を担う本学の学生や留学生たちにとっても、今回のセミナーは大変有意義な機会となると確信しています」と挨拶しました。

その後、城内実外務大臣政務官、ポーランド外務次官のグラズィナ・ベルナトヴィチ (Grażyna Bernatowicz) 博士、駐日欧州連合代表部代表・大使のハンス・ディートマール・シュヴァイスグート (Hans-Dietmar Schweisgut) 氏がそれぞれキーノートスピーチを行いました。

セミナーは、昼食を挟んでテーマ別に以下



城内実外務大臣政務官のキーノートスピーチ



水田理事長によるオープニングスピーチ



ハンス・ディートマール・シュヴァイスグート氏のキーノートスピーチ



グラズィナ・ベルナトヴィチ博士のキーノートスピーチ



セミナーの様子



22か国の大使館から関係者が参加

の四つのセッションが実施され、各セッションでは日本とパートナーシップ対象地域における各分野の専門家がパネリストとしてプレゼンテーションを行った後、活発な議論が展開されました。

また、本学から松野研一教授が各セッションのコメントーターを務め、議論を大いに深めました。セミナーの最後に、城西国際大学の柳澤伯夫学長がクロージングスピーチを行いました。

なお、セミナー終了後のレセプションには各セッションのパネリストや聴講者たちが集い、日本とV4・パートナーシップ対象地域の今後の協力・発展に関する意見交換等が活発に行われました。

今回のセミナーを通じて、V4およびパートナーシップ対象地域の各分野における対話・協力的体制整備に向けた課題や今後の方向性が共有されるとともに、聴講した本学学生らにとっても、各国の代表者の生の声を聞き、外交の現場を実体験することによって地域の情勢をより深く理解し、これまで以上にグローバルな視野を持つための大変貴重な機会となりました。

なお、ハンガリーのエトヴェシュ・ロラード大学 (Eötvös Loránd University) から城西国際大学城西国際大学院に留学し、卒業後駐日ハンガリー大使館に外交官として勤務しているアンナ・バリーン (Balint Anna Hriszobet) さんも、本セミナーに外交団の一員として参加するなど、本学の目指すグローバル人材育成は着実に成果を生んでいます。

また、本学では2008年以降、城西国際大学・城西国際大学両学でのべ2千名の学生がハンガリー語を学んできましたが、この4月からは、加えてポーランド語・チェコ語の授業もスタートする予定で、今後一層のグローバル教育の充実を図ります。

●セッション1

Democracy, Good Governance, Stability
(民主主義、良好なガバナンス、安定性)

●セッション2

Economic integration and cooperation
(経済統合と経済協力)

●セッション3

Energy security (エネルギー保障)

●セッション4

Direction of Eastern Partnership and Japanese Diplomacy
(東方パートナーシップの方向性と日本の外交)

2013年6月16日、ポーランドのワルシャワを訪問した安倍総理は、V4(ヴィシエグランド4か国)各国の首脳・トゥスク (Donald Tusk) ポーランド首相(議長国)、ネチャス (Bert Necas) チェコ首相、オルバーン (Viktor Orbán) ハンガリー首相、フィツォ (Robert Fico) スロヴァキア首相と、「V4+日本」首脳会合を行いました。同会合終了後、会合の内容を総括する共同声明が出されましたが、その中で「V4および日本国は、2013年2月に学校法人城西国際大学と共催で東京にて開催したセミナー『ヴィシエグランド・グループと日本—共に東方パートナーシップに向けて—』とオープン・ディスカッションが、日本国とV4との間での東方パートナーシップについての協力の強化に資するものであったと評価した」と紹介されました。



水田理事長がハンガリーから勲章を授与

日時…2013年11月21日
場所…駐日ハンガリー大使館

2013年11月21日、ハンガリー大使館において、本学水田宗子理事長に Commander's Cross of the Order of Merit of Hungary (civil division) ハンガリー中十字勲章が、ハンガリーのオルバーン・ヴィクトル (Orbán Viktor) 首相より授与されました。

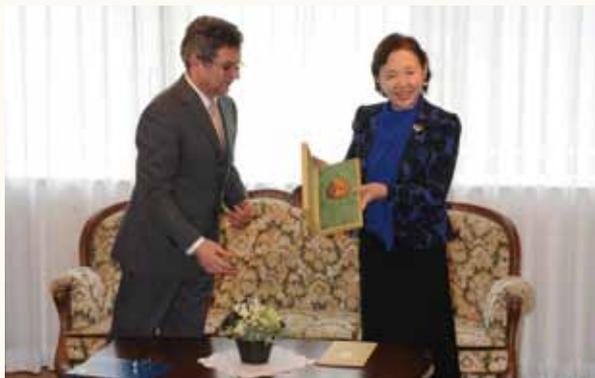
これは、ハンガリーと日本両国間における教育・研究、人材育成への大きな貢献が認められていることです。

ハンガリーの叙勲制度の中で、Order of Merit of Hungary は1991年設定のハンガリー最高の勲章とされ、民間部門と軍事部門と分かれており、Commander's Cross は民間の外国人に与えられるものでは最高位とされています。過去の日本人の受勲者としては、米倉弘昌経団連会長、海部俊樹元首相等がいます。



ハンガリー首相より勲章を受ける水田理事長

水田理事長には2011年5月に、ハンガリー政府より *Pro Cultura Hungarica* (フテン語:「ハンガリー文化のために」の意味) の勲章が既に授与されています。この勲章は国外でのハンガリー文化の普及、またはハンガリーと国外の文化交流に重要な貢献をした外国人に対して与えられるものです。



ハンガリー共和国文化勲章の授与

ポーランド大統領夫人が来学

日時…2012年4月12日
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



2012年4月12日、ポーランド共和国アンナ・コモロフスカ大統領夫人一行が学校法人城西大学の東京紀尾井町キャンパスに来学し、水田理事長と会見しました。

本学は、中期目標でグローバル人材の育成に向けた国際交流活動強化を掲げハンガリーやポーランドなどの中央ヨーロッパの国々との学術交流を積極的に深めており、本年2月にはポーランド大使も来学しました。今回の来学は初来日した大統領夫人の公式行事として実現したものです。今回は大統領夫人のほか、ポーランド人道アクション理事長のヤニナ・オホイスカ氏、ポーランド大統領局副局長、ポーランド大使が来学しました。

会見の中で水田理事長は、「東日本大震災時にはポーランドから日本への温かい支援と励ましの言葉をいただき、本当に感謝しています。これまで本学はポーランドと積極的に交流し、10月にはポーランドから留学生を迎えることになりましたが、今回の大統領夫人の来学により今後ますます交流を深めたい」と述べました。

大統領夫人からも「学校法人城西大学とポーランドの大学との交流が活発に進んでいると聞き、大変嬉しい。今後は城西大学からポーランドへの留学生も含めて、さらに両国の交流が活発になることを期待している」と話がありました。

会見後、地下ホールにて大統領夫人とオフィスカ理事長の講演が行われました。最初に大統領夫人から、国連の「児童の権

利に関する条約」制定の基となったポーランドの「こどもの権利の活動家」ヤヌシュ・コルチャック先生」に関する講演をしていただきました。大統領夫人は、こどもの権利の創始者であるコルチャック先生の思想と活動を紹介するとともに、夫人が推進している日本・ポーランド両国の団体等による東日本大震災被災者への支援活動「絆の架け橋」プロジェクトの活動内容についても触れ、「これを機会に、コルチャック先生やポーランドのことをぜひ深く知ってほしい」と述べました。

つづいて、オフィスカ理事長より「女性のリーダーシップとポーランド人道アクションの活動」と題した講演が行われました。ポーランド人道アクション(PAH)は、紛争・自然災害・貧困等により人道的支援を必要とする世界の国々に向いて活動を行う組織で、1992年の設立以来、コソボ紛争やチェチェン紛争、アフガニスタン等に使節団を派遣し、さまざまな人道支援を行っています。オフィスカ氏はその理事長として積極的に活動を推進しており、講演では同組織の設立目的や経緯、これまでの世界各国での活動内容に加え、昨年の東日本大震災で被災した気仙沼での幼稚園の再建活動等を具体的に紹介しました。

講演には福祉を幅広く学んでいる城西国際大学福祉総合学部の学生をはじめ城西大学からも多くの学生等が出席して熱心に講演に耳を傾け、質疑応答でも積極的に質問が出ていました。

そしてその後に行われたレセプションでは、海外からの留学生を含む両大学の学生たちが大統領夫人やオフィスカ理事長、大使らと和やかに歓談し、国際的な雰囲気の中で両国の交流と理解を深めました。

2009年が日本・ポーランド国交樹立90周年という節目の年だったこともあり、特に近年日本でのポーランドの歴史・文化・学術に関する関心が高まっています。本学でも、日本に大変馴染みの深いポーランドの偉人

あるキュリー夫人のパネル展開催などが城西大学および城西国際大学で行われる予定です。

本学は、ポーランドとは2011年9月にポーランド日本情報工科大学と学術交流協定を結び、同大学より初の留学生がこの10月に来学予定です。

今回の大統領夫人の公式訪問を機に、今後の本学とポーランドの大学との交流がより活発に進むことが期待されます。



講演される大統領夫人



大統領夫人一行との記念撮影

「世界の中の日本」「女性リーダー育成奨励制度」

ハンガリー・ブダペスト商科大学において研修を実施

日時…2013年3月5日～13日
場所…ブダペスト商科大学、ハンガリー

城西大学・城西国際大学の学生30名が、ハンガリー・ブダペスト商科大学(Budapest Business School: BBS)における研修に参加しました。この研修は、グローバル社会において活躍することのできる人材育成を目的としており、世界という外部から日本文化を俯



ブダペスト商科大学初日オリエンテーション

徹的に捉えることのできる知識を学生に修得させることに重きを置いています。今年度より両大学で始まった講義「世界の中の日本」と、それに連動する海外インタビュースhip「国際グローバル研修」のプログラムとして実施されました。また今回は、2006年度に創設された「女性リーダー育成奨励制度」における海外研修との合同実施となりました。30名の参加学生のうち、9名が女性リーダー育成奨励生です。

研修団は2013年3月5日から13日の日程において、ハンガリー・ブダペスト商科大学を訪問しました。現地滞在5日間の日程において、午前はブダペスト商科大学における講義を聴講、午後はハンガリーの名所旧跡を巡る市内フィールドワーク、ハンガリーにおける日本文化の受容について理解するための美術館見学を行いました。さらには、ハンガリーに在住する日本人、日本文化に造詣が深



国会議事堂見学

いハンガリー人に対して、学生たちはインタビューを行い、「他者」の語りを通して日本文化のあり方を見つめ直す経験をしました。そもそも「日本とは何か」「日本人というアイデンティティとは何か」等、異文化コミュニケーションにおいてもっとも根幹となる問いを、彼／彼女たちは抱えて帰国することになったと思います。帰国後、この問いに対してどこまで取り組むことができるのか、参加した学生たちの今後の成長に期待します。

またこの研修では、ブダペスト商科大学で日本語を勉強する学生たちの協力を得られました。現地での講義、学生による成果発表は、英語で実施しました（講義の一部は日本語）。ハンガリーの人びとにとっても英語は外国語です。世界共通語としての英語、ハンガリーで日本語を勉強する学生の日本語を通して、研修団の学生たちは、異なる文化背景を持つ他者と交流する絶好の機会になったと



成果発表会においてクリスト学長（中央）の挨拶
（写真左：BBS ヒダシ先生、写真右：駐ハンガリー山本大使）

思います。さらに、最終日に実施した成果発表のために学生たちは、研修中毎夜日付が変わる頃まで準備を行っていました。朝から晩まで勉学に励んだ貴重な経験となればと思います。

女性リーダー育成奨励生は上記のプログラムを受けると同時に、ブダペスト商科大学クリスト（Eva Sandor-krista）学長へのインタビュー、ハンガリー外務省のオルバーン（Ania Orbán）大使のもとを訪問しました。ハンガリーは日本と同じく、社会で活躍する女性リーダー（国会議員や管理職）の比率が10%程度と、ジェンダー先進国と比較するとその位置づけは高くはありません。そうした中で、クリスト学長とオルバーン大使は、現代ハンガリー社会で活躍する女性リーダーです。奨励生たちは、これまでの彼女たちのプロセスについての語りをインタビュウ等でうかがい、精神・行動の二つの側面から女性



クリスト学長を囲んで女性リーダー育成奨励生によるインタビュー
（写真奥右二番目からBBSのセーカチ先生、クリスト学長、佐藤先生、ヒダシ先生）

リーダーとしての意識・意欲について学びました。

このようにクリスト学長、オルバーン大使は、今回の私たちの訪問を受け入れてくださいました。お二人は水田宗子理事長が結ぶ、世界において活躍する女性のネットワーク（LIWIN）のメンバーです。これは、城西大学・城西国際大学で学ぶ女子学生の人材育成について協力いただけるネットワークであり、年々、メンバーが増えていきます。女性リーダー育成奨励制度は、こうしたプログラム支援によって海外研修を実現しています。

さらに研修を受け入れてくださったブダペスト商科大学の先生方も女性であり、ハンガリー社会で女性として仕事をするこのエピソード等を忌憚なく私たちに語ってくださいました。こうした交流を通して今後、日本とハンガリーにおける女性たちのネットワークが構築されていくことも期待されます。

第19回チェコ語弁論大会が本学で開催



日時…2013年5月25日
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

2013年5月25日、チェコ共和国大使館の主催による「第19回チェコ語弁論大会」が本学東京紀尾井町キャンパス地下ホールを会場として開催されました。

本大会は、これまで毎年大使館にて行われてきましたが、現在大使館が改修中であることから、中期目標の中でチェコをはじめとする中欧地域の大学との教育交流を積極的に展開し、本年度よりチェコ語の授業もスタートした本学が会場を提供して行われたもので



表彰式で、1位の賞状を手に大使と握手する楢田さん

す。

大会の開催にあたり、カテリーナ・フィアルコヴァー (Katerina Fialkova) 大使は、「この弁論大会も回を重ねるほどに良い評判を確立するようになってきました。チェコ語を話す日本の方が、ますます多くなってきているのはこの大会のおかげでもあり、これらの方々は、日本とチェコの友好関係の「懸け橋」です。今年が大会が初めてチェコ大使館を出て、城西大学で行われます。開催に際し



理事長賞に選ばれた大江さん(中)

て心のこもったお世話をいただいている水田理事長をはじめ関係者の皆さま方に、心より御礼申し上げます」と挨拶しました。引き続き水田宗子理事長が「チェコ語の弁論大会が本学で開催されるのはまことに光栄です。本学でチェコ語を学び始めた学生たちが、来年のこの大会に出場することを大いに期待しています」と挨拶しました。

大会にはチェコ語を学ぶ男女10名が出席しました。出席者はそれぞれチェコ語による自己紹介に続き、二つのテーマ「食事と家の習

今

回の弁論大会実施にあわせ、本学3号棟水田アートギャラリーにおいて「本学とチェコの交流」と題した写真展が開催されました。本学は、中期目標でグローバル人材の育成に向けた国際交流活動強化を掲げて世界のさまざま

な大学と積極的に国際交流を深めるなか、特に中欧地域との教育交流を強化しています。チェコに関しても、水田理事長のチェコ共和国大使館訪問を契機に、フィアルコヴァー大使のご紹介により2012年3月にプラハ経済大学 (University of Economics, Prague) と学術交流協定を締結しました。その後6月には本学訪問団がカレル大学 (Charles University in Prague)、プラハ経済大学、マサリク大学 (Masaryk University) を訪問しています。

ギャラリーでは、チェコの美しい風景の紹介とともに、2012年6月の大学訪問の様子や、これまで本学で行われたチェコ関連のシンポジウム・イベント等

慣「自分の将来の計画」のうちのいずれかを選び、持ち時間5分でチェコ語のスピーチをしました。出席者の年齢やチェコ語の学習期間、学ぶきっかけや環境などはそれぞれ異なりますが、出席者は多くの聴衆を前に、皆一生懸命に日ごろの学習の成果を披露していました。

大使や立教大学の阿部賢一准教授、東京外国語大学のゲバハルトヴァー (Marketa Gehartova) 先生、外務省中・東欧課の塚本公平氏、チェコセンターの山本涼子氏から

を紹介しつつ、チェコの音楽、文学、アニメーション、人形劇などの独特の文化もあわせて紹介しました。



3号棟アートギャラリーで写真展を見学される大使たち

なる5名の審査員による厳正な審査を経て、見事1位には榎田ひかりさん(大学生)が選ばれ、授賞式ではフィアルコヴァー大使から賞状および副賞としてチェコの大学での1か月の留学の権利が、プラハとほかのヨーロッパ都市間の飛行機のチケットとともにプレゼントされました。

また、今回特別に本学から「水田宗子理事長賞」が設けられ、大江智子さん(大学生)が見事受賞、水田理事長より賞状と記念品が贈られました。

なお、大会の最後には、この4月からチェコ語を学び始めた本学学生の代表3名が、ステージ上でチェコ語による挨拶と今後の抱負を披露しました。今後のチェコ語の上達とグローバルなコミュニケーション力を身に付けることが大いに期待されます。



出場者や審査員らによる記念撮影

水田宗子ハンガリー・ポーランド・チェコ奨学生

表彰式を開催、駐日ポーランド大使館表敬訪問

日時…2013年9月30日
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



2013年9月30日、平成25年度水田宗子ハンガリー・ポーランド・チェコ奨学生表彰式が東京紀尾井町キャンパスで行われました。

この奨学金は、2009年12月ハンガリー共和国大統領であるシヨーム・ラーズロー(Solyom, Laszlo) 大統領閣下(当時)が、東京紀尾井町キャンパスを表敬訪問されたことを記念して「水田宗子ハンガリー奨学金」として設立されたもので、ハンガリーと日本の懸け橋となる人材育成を目的としています。

本学は中期目標でグローバル人材の育成に向けた国際交流活動強化を掲げて世界のさまざまな大学と積極的に国際交流を深めるなか、特にV4諸国をはじめとする中欧地域との教育交流を強化しています。4年目を迎えた本奨学金は、新たにポーランドとチェコからの留学生を対象に加えて、城西大学・城西国際大学へ留学している3か国からの奨学生を表彰する式として行われました。

4年目となった今年度の表彰式には、ハンガリーのブダペスト商科大学(Budapest Business School)・ブダペスト・コルヴィヌ



受賞者の皆さん



親善大使に任命された6人と水田理事長、森本雅憲城西大学学長、石田益実城西国際大学副学長

ス大学(Corvinus University of Budapest)・セント・イシムトヴァーン大学(Szent Istvan University)・エトヴェシユ・ロラーンド大学(Eötvös Loránd University)・ニーレシハーザ大学(College of Nyiregyháza)・カローリ・ガーシニパール・カルビン派大学(Karoli Gáspár University of the Reformed Church in Hungary)・セゲド大学(University of Szeged)・デブレツェン大学(University of Debrecen)から両学への留学生15名、ポーランドのワルシャワ大学(University of Warsaw)・ウッチ大学(University of Lodz)・ポーランド日本情報工科大学(Polish-Japanese Institute of Information Technology)から両学への留学生13名、チェコのカレル大学(Charles University in Prague)・マサリク大学(Masaryk University)から城西国際大学

への留学生2名の合計30名が出席しました。表彰式では、水田理事長からの表彰状授与に続き、各国の学生親善大使が2名ずつ任命され、水田理事長よりたすきが渡されました。日本との文化交流を深める大使としての6人の今後の活躍が大いに期待されます。

その後、各国の奨学生を代表してハンガリーのフェール・イシムトヴァーン(Feder Istvan)さん、ポーランドのチュヘック・ヨヴィタ・アグニエシカ(Czudek Jowita Agnieszka)さん、チェコのレザツキ・ダヴィド(Rezzagni David)さんの3名が授与の謝辞および決意表明を行い、本奨学金により安心して勉学に励めることに対し水田宗子理事長および関係者へのお礼とともに、日本に留学する1年間で日本のさまざまな伝統や経済・社会などを学び、日本と3か国の相

●周辺図



— 東京メトロ有楽町線 — 東京メトロ銀座線 — 東京メトロ南北線
 — 東京メトロ半蔵門線 — 東京メトロ丸ノ内線 — JR線

アクセス インフォメーション

- 東京メトロ有楽町線 麹町駅1番出口より徒歩3分
- 東京メトロ半蔵門線・南北線 永田町駅9a番出口より徒歩5分
- 東京メトロ丸ノ内線・銀座線 赤坂見附駅D出口より徒歩8分
- JR中央線・総武線 四ツ谷駅より徒歩10分



互理解を一層深めていくことへの力強い決意を述べました。

最後に水田理事長が奨学生に「皆さんは、グローバル人材になるために自国以外の歴史・芸術・文化を積極的に学んでください。そして、日本で得たさまざまな貴重な経験が皆さんのこれからのキャリアに大いに役立つと信じています。また、両学の日本の学生にも良い刺激を与えてください」と励ましの言葉を述べました。

なお、本学では2008年以降、城西大学・城西国際大学両学でのべ2千名の学生がハンガリー語を学んできましたが、この4月からはポーランド語・チェコ語の授業もスタートしており、グローバル教育のさらなる充実を図っています。

また、ポーランドの奨学生13名は、今回の

表彰式に先立つ9月26日に、水田理事長らとともにポーランド大使館にてツイリル・コザチエフスキ (Czyli Kozaczewski) 駐日大使を表敬訪問しました。

大使は、ポーランドから本学への初めての留学生となった13名を温かく歓迎してください、「皆さんの将来の可能性は無限大です。今回の城西大学への留学チャンスを最大限に生かして日本でさまざまなことを学び、体験し、それらを通じて今後のポーランドと日本の懸け橋となるだけでなく、世界に貢献できるような人材に育ってください」と励ましの言葉を贈られました。

その後、奨学生たちは一人ひとり流暢な日本語で自己紹介や留学中の目標を語り、大使も今後の彼らの成長に大いに期待を寄せていました。



出席者による記念撮影

学校法人 城西大学

城西大学 / 城西短期大学 城西国際大学

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26 TEL.03 (6238) 1300

学校法人 城西大学 <http://www.josai.jp/>

城西大学 <http://www.josai.ac.jp/> 城西国際大学 <http://www.jiu.ac.jp/>

学校法人 城西大学 中欧研究所

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

<http://www.josai.jp/jicpas/jices/index.html> e-mail: jices@jiu.ac.jp